

7月30日の津波警報発表対応等に 関する町民アンケートを実施しました

町では、7月30日にカムチャッカ半島付近において発生した地震に伴い、津波警報等が発表された際の当日の対応や避難行動等を振り返り、町民の皆さんが実際に避難して感じたことや町に求めることなどについて、広くご意見をいただくアンケート調査を実施しました。

このアンケートでお寄せいただいた町民の皆さんからのご意見等(要約)の一部を掲載します。

【避難方法について】

- 津波予想を加味して避難を要する区域を大まかに分けてはどうか。例えばJR鉄道線路から海側が第一次避難、車で避難を許可する人には、許可証を発行し、優先して通行させるなど。実際に渋滞が起きていて、全町一斉での避難は現実的ではない。
- 高齢者も多く、階段を登っての避難には限界がある。車で避難するなというが、実際には難しい。

【避難場所等について】

- 避難所のテントや避難スペースなどが、想定している避難者数に対応しているのか。施設への避難以外ではテントだったので、暑さや防寒対策を検討して欲しい。
- 奔渡のコアぱんときらくについて、屋上が避難場所になっているが、夜間や土日祝日は施設が施錠されている。NTT厚岸ビルや真龍中学校のように災害発生時には自動で解錠される仕組みとするか、キーボックスの設置をしてはどうか。
- コンキリエに避難したが、避難者で溢れ、建物内に入ることは難しかった。屋外でずっと立ちっぱなしで待機するのは辛く、ブルーシートなどあると座れると思った。
- しんりゅう保育所裏山の避難場所が低すぎる。階段を作ってもっと高い場所への避難経路を作って欲しい。避難場所が外と言うのも心配だ。
- 避難しても小屋一つあるだけで中に何人も入れず、虫が多かった。食料などもなく、暑さや寒さで亡くなる人が出ると思う。
- 防災タワーは床潭や門静などには必要ないのか。建てられないのであれば、車で避難できるような高台を作るべきだと思う。
- 避難場所の草が伸びていて、簡易トイレ内にもカビがあった。点検が必要だと思う。

【備蓄品・非常持出品について】

- 今回、職場から避難したため、避難袋などの備品を持っていけなかった。避難場所に多少食料を用意しても良いのではないかな。

【町の対応について】

- 避難対応の確認を町立の小中学校や保育所にも行ったほうが良いのではないかな。保護者が園児や児童を迎えにいけない場合、町としてどのように対応するのか。
- 児童館の子供たちを避難させるのが遅すぎると感じた。
- 水や食料の配布は漁組やコンキリエの職員の方々が率先して行っていたが、役場の職員と思われる人は、何もしていなかった。
- 避難場所に役場の男性と女性職員が一人ずつ車に乗ってきたが、車から降りず二人でずっと話して笑っていた。不謹慎ではないかな。
- 釧路は津波注意報でアラートが鳴った。厚岸は津波警報で鳴った。注意報で鳴らした方が良い。
- 役場の職員だけでの対応は難しいのでもっと町民やボランティアの協力体制が取れるようにした方がいいと感じた。
- 防災行政無線の放送が聞こえなかった。
- 避難先で昼食と夕食をいただいたが、町からの情報はなく不安だった。
- 避難中に、テレビで他市町の潮位の情報を映像で観ていたが、肝心の厚岸の情報が全くわからなかった。各避難所の担当職員間で情報交換して避難者に1、2時間おきくらいに状況を知らせてほしいと思った。

【その他】

- 備蓄品を使用して、防災学習や体験会をしてみてもどうか。
- 避難先から自宅に戻る人が多かった。

短い期間の中で、様々なご意見等をお寄せいただき、大変ありがとうございました。

この内容については、先日の懇談会でいただいたご意見等と併せて、今後、解決に向けて取り組んでいきます。

また、来月号では、これまでいただいたご意見・ご要望に対する現時点での検討結果や今後の町の対応方針等を掲載する予定です。